

仕事と自己啓発の月刊誌「OLマニュアル」

# OLmanual

<http://www.kens-p.co.jp>



特別企画  
目からウロコの  
「気ばたらき」仕事術

OCTOBER, 2012  
Vol.24 No.284

10

私たち大人としてマナーが出来ているのは当たり前と思いがちです。しかし実際には知っていることとそれを実行していることは大違います。このギャップが人間関係で問題を引き起こしていることも少なくありません。

マナーの最大の効果は、相手との信頼関係が築けること。もちろんマナーの多くは明文化されておらず、暗黙のマナーがたくさんあります。誰かに声をかけられたらすぐに返事をするとか、人にぶつかつたら謝るとか、ハラスマントをしないとか、何かをしてもらつたら「ありがとう」と言うとか、様々なマナーが存在しています。しかしこれらは守らなくてはいけない、本人はマナー違反をしている意識が希薄になり、それがエスカレートしていくこともあります。

例えば、新人がいくら挨拶をしても決して返事を返さうとしない先輩社員がいます。それを見かねた上司がその人に注意をすると「そんなこと今まで一度も言われたことがない。なんでいまさらそん

HIROKO AIBE

★ 巻頭エッセイ

## 相部博子の マナーは人のためならず



相部博子 人材育成コンサルタント/ビーフォーシー代表取締役

連載  
No.4

マナーは  
心を表すもの

私立暁友学園女子高等学校卒業後、New Zealandミートプロデューサーズチャーチランギルスクールへ留学。その後、クリーナーの輸入代理店、ニューヨークの日本語放送東京支社、日本で初の禁煙ラボの経営、及びカウンセラーなど、様々な業種と業務を経験し、平成元年6月に株式会社ビーフォーシーを設立。<http://www.bforc.co.jp/>

なことを言うんだ」と逆切れされてしまいました。こういう人は今まで周囲が遠慮して何も言わなかつたか、あるいは怖くて言えなかつただけで、決して容認されていたわけではないのです。しかし本人の中では自分の言動が正当化されているので、注意した相手が間違っていると騒ぎ立てるのです。あなたの周囲にも思ひ当たる人はいませんか？

また逆に、形式化された儀式のようなマナーもあります。例えば銀行や店で見かけるあるお辞儀です。腕を曲げて肘を突き出し、手のひらをおへその上のあたりで重ねてお辞儀をしています。私はこれをロボット化現象と呼んでいます。

これはマナーとはほど遠く、頭を使わずに皆が同じ行動をしているだけで、知性のかけらも感じられません。こんなお辞儀をされ、いつたいどんな人が気分がよくなると思つてゐるのでしょうか。マナーとはやれば良いのではなく、そこに心や気持が入つていなければ何の効果もありません。マナーを形で捉えて儀式化するのではなく、そこにいる相手に思いを寄せて行動する、それがマナーであることを忘れてはいけません。